

第 1 平成16年度決算の状況

1 決算のあらまし

本県の平成16年度当初予算は、「県民しあわせプラン」を着実に推進するため、各事業について、厳しい優先度判断を行いつつ、3つのテーマで選定した30項目にわたる「重点プログラム」へ、戦略的、重点的な投資を行っていくなど、「選択と集中」を 層進めたうえで、『「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」の実現に向けた予算』として編成し、 一般会計予算の前年度当初予算との比較では、対前年度比0.6%の減となりました。

このような中、11月補正予算では、台風21号にかかる被害等の早期復旧を図るため、災害復旧事業について予算計上するほか、「被災者生活・住宅再建支援制度」の創設や「災害弔慰金の支給等に関する法律」に基づく支援など、当面緊急に必要な経費について所要の予算措置を講じました。また、12月補正予算等では、再度災害の発生を防止するための災害関連事業など、新たに実施が必要となった事業や国庫支出金の額の確定に伴い事業費に増減が生じた事業などについて、それぞれ所要の措置を講じました。

その結果、平成16年度決算の状況について、 一般会計、特別会計及び企業会計ごとに収支状況をみてみますと、表1のとおり、 一般会計における決算は、歳入は、前年度に比べて2.4%減の約7,151億円、歳出は、前年度に比べ3.3%減の約6,939億円となりました。このため、歳入と歳出の差引額である形式収支は、約211億円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源、約113億円を差し引いた実質収支は、約98億円の黒字となっています。

また、特別会計では、歳入は前年度に比べ8.1%減の約389億円、歳出は前年度に比べ7.1%減の約330億円となり、形式収支は約58億円の黒字、実質収支は約47億円の黒字となっています。

次に、企業会計の決算は、収益的収支における収入は、前年度に比べ6.6%減の約411億円、支出は前年度に比べ5.4%減の約397億円となり、差引額は約13億円となっています。資本的収支における収入は、前年度に比べ62.9%増の約149億円、支出は前年度に比べ5.1%増の約235億円となり、差引額はマイナス約85億円となっています。

なお、各会計ごとの過去からの決算の推移については、巻末資料1を、また 一般会計と特別会計における実質収支額の推移については巻末資料2をご覧ください。

表1 三会計決算収支状況

(単位:千円、%)

	一 般 会 計					特 別 会 計				
	歳 入		歳 出		差引額 A B	歳 入		歳 出		差引額 A B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成15年度	732,609,263	△6.4	717,631,245	△5.9	14,978,019	42,268,160	9.0	35,584,450	12.5	6,683,710
平成16年度	715,064,267	△2.4	693,936,422	△3.3	21,127,845	38,855,928	△8.1	33,047,176	△7.1	5,808,752

	企業会計（収益的収支）					企業会計（資本的収支）				
	収 入		支 出		差引額 A B	収 入		支 出		差引額 A B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成15年度	43,962,327	△2.0	42,012,162	△4.7	1,950,165	9,155,796	△6.7	22,335,399	△6.3	△13,179,603
平成16年度	41,054,657	△6.6	39,733,085	△5.4	1,321,572	14,914,616	62.9	23,455,285	5.1	△8,540,669

(注) マイナスを「△」印で表示し、以下、同様に表示します。

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)